

# ウォーキングクラブ「庄内緑地公園駅から蛇池神社初詣」

実施日：2025.1.16



今朝の天気予報に寄れば、最高気温 8℃・最低気温 1℃・風速 2m/s、気温は低いが北風は穏やかな W 日和ではないか?!

庄内緑地公園駅に男性6名、女性8名の14名が9時35分に集合、改札口前の駅周辺マップの前でコースの案内説明。地下階段出口を一步踏み出せば、防寒対策をしたアウターとネックウオマーを着込んだ着膨れ状態に寒さが心地よい気さえします。風も無く陽射しの眩しさと雲一つない青空に、W 意欲が湧き心身に共に健康である事を実感しました。

## ①大野木ふれあいロード（山西用水路散策路）

右に自動車学校を見て、坂井戸の交差点を渡り庄内川堤防取り付け道路の緩い坂道を下り山西用水路散策路に至りました。

遊歩道の片隅に銅板の来歴板の石碑があり、それによれば、山西用水路は山田町から西枇杷島町に至る灌漑用農業用水で、時代の流れで戦後の変遷を経て農用地から住宅地化が進み、水路を暗渠化して坂井戸と蛇池公園を結ぶ散策路として整備された様です。

幅は 5m 程で砂利洗い出しのコンクリート舗装道は大変歩き易く両側には百日紅(サルスベリ)の並木が植栽され夏になれば見事な花が日陰を作ってくれる事でしょう。

また、途中には石組の清流が細々と流れる小川も一興です。

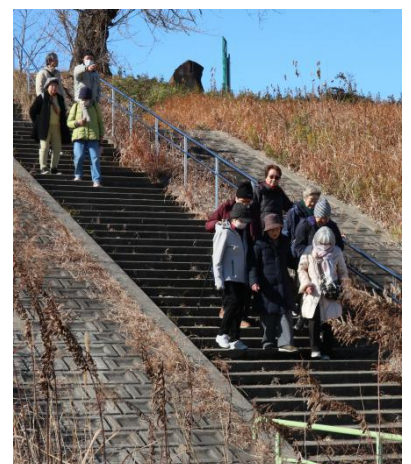
我々 W 会員は三々五々長い蛇の様におしゃべりと散策路の家並みや、お庭を眺めながらのゆったりのにんびり散策ハイクです。途中では多数飼われた猫が己用の小さな電気座布団でのんびり休息する猫屋敷をガラス窓越しに観察です。あるいは冬枯れの樹木の小鳥の巣を眺めたり、何か興味が湧く街並や自然観察に時を忘れ、ほっこりした心身はリハビリ W の醍醐味です。

そんなこんなとぶらぶら歩けばやがて蛇池公園に至りました。

## ②蛇池神社初詣

蛇池公園は知る人ぞ知る桜の名所で冬枯れの大きな桜は寒々とした樹形。その先に「てなもんや三度笠」のあんかけの時次郎と珍念が格子戸を開けて「俺がこんなに強いのは当たり前前の・・・」そんな雰囲気のできた御堂がありました。そうです、それが蛇池に建つ蛇池神社です。神仏習合の面影があるお堂はお寺風だが、格子戸の上には立派な注連縄が飾られています。

日頃不信心な小生も今年は巳年の年男。念入りに二礼二拍手一礼、心を込めて「安全 W」お詣りさせていただきました。本殿の前で、はち切れる元気と笑顔の集合写真を専属プロに撮ってもらいました。ところで、蛇池は織田信長が若い頃、大蛇が棲むとの話を聞き、家来と村人に池の水を汲み出させたが水位が下がらず。自ら刀を口に銜え潜ったが発見することは無く、水練の達人な鶴左衛門に探させたがやはり見つけられなかったため、漸く信長は諦めたと言う。この事が「信長公記」に記されているそうです。この話は何でも徹底して行う信長の気性を現すエピソードとしても語られています。





見て、



### ③洗堰緑地

蛇池神社の初詣も無事済み、池を半周してから洗堰遊水地の土手の階段を上れば名古屋市内とは思えない程の全方位見渡す限りの大展望です。西南を見渡せば庄内川の土手の先には名古屋駅前の超高層ビル群が、その先には養老山脈・鈴鹿山脈の稜線のシルエットが展望できます。東南を見渡せば名古屋高速 1 号線の高架橋が南に向かって一直線に伸びており、その先には中切町の丸い高層マンションが聳えています。北を向けば名古屋環状線と名城線の高架橋が視界を取り巻いています。皆さんから 3.5km では物足りないのご指摘があり、歩行距離を延長したいとの要望で黒川駅まで W するとの頼もしいご意見をお聞きしてコースを急遽変更。

やはり、黒川駅までの市高速道路と国道 R41 の幹線道路 W は騒音・排気ガスを考えれば W 環境が悪く決して気分爽快の W とは言えません。庄内川と矢田川を跨ぐ新川中橋を渡り中切 4 丁目で市バス停で乗車する事にしました。ただし、全員乗車すると市バスの混雑を考慮して 4 人はバス停の前の讃岐うどんでランチタイムとし、自由解散としました。

### ⑤ランチタイムは中切町 4 丁目の讃岐うどん

讃岐製麺で釜揚げうどんを美味しく頂き、店を出れば、運よく市バス 12:20 に乗車して高丘町で下車、桜通線に乗換へ本願寺町の我が家に 13 時過ぎに帰宅。ところでスマホの歩行記録では総歩行数 10,800 歩・歩行時間 1:40・歩行距離 7.5km でした。 (写真提供：北川健一)

